

安全データシート

[SDS]

JIS Z7253:2019に準拠

01. 製品及び会社情報

化学品名	リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 RF-VP (JIS K9798規格品)		
商 品 名	KC リサイクル発泡三層管(RF-VP)		
会 社 名	株式会社クボタケミックス		
住 所	〒661-8567 兵庫県尼崎市浜一丁目1番1号		
担当部門	品質保証部 小田原品質保証課		
電 話	0465-48-3138	FAX.	0465-48-1254
緊急連絡先	株式会社クボタケミックス	電話	0465-48-3138
推奨用途及び使用上の制限	雨水立てとい、排水・通気用		

02. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

成形品のため分類対象外

健康に対する危険有害性

発がん性

区分1B

生殖毒性

区分1A

特定標的臓器/全身毒性(単回暴露)

区分1

特定標的臓器/全身毒性(反復暴露)

区分1

(注) 記載なきGHS分類区分:区分に該当しない/分類できない

GHSラベル要素



注意喚起語

危険

危険有害性情報

発がんのおそれの疑い

生殖能または胎児への悪影響のおそれ

臓器(中枢神経系、血液、腎臓)の障害

長期または反復暴露による臓器(中枢神経系、血液、腎臓、肺)の障害

長期的影響により水生生物に有害のおそれ

注意書き

安全対策

すべての安全注意を読み理解して取り扱う

孤児尿保護具や換気装置を使用し、暴露を避ける

粉じんを吸入しない

取り扱い後は良く手を洗う

環境への流出、放出を避ける

応急処置

暴露またはその懸念がある場合、医師の診断、手当を受ける

気分が悪い時は、医師の診断、手当を受ける

廃棄

内容物や容器を地方/国の規則に従って廃棄する

03. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別
成分

混合物

成分	含有量	CAS番号
ポリ塩化ビニル樹脂	90～95 %	9002-86-2
炭酸カルシウム	4～7 %	471-34-1
ステアリン酸鉛	1～5 %	1072-35-1
三塩基性硫酸鉛	0.1～1 %	12202-17-4
酸化チタン(IV)	0.1～0.5 %	13463-67-7
カーボンブラック	0.001～0.1 %	1333-86-4
銅およびその化合物	0.001～0.1 %	147-14-8
シリカ	0.001～0.1 %	7631-86-9

※注 1. 上表は管の内外層の成分を示す。

2. 中間層については、再利用硬質ポリ塩化ビニルを発泡したものであり、化学物質の成分、含有量を特定できないため、上表から除外する。

危険有害物成分

労働安全衛生法 名称を通知すべき有害物

ステアリン酸鉛
三塩基性硫酸鉛
酸化チタン(IV)
カーボンブラック
銅およびその化合物
シリカ

04. 応急処置

吸入した場合

新鮮な空気のある場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる
気分が悪い時は、医師に連絡し、必要に応じて手当てを受ける

皮膚に付着した場合

速やかに取り除く
気分が悪い時は、医師に連絡し、必要に応じて手当てを受ける

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗う
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける
違和感がある場合は、医師に連絡し、必要に応じて手当てを受ける

飲み込んだ場合：

口をすすぐ
気分が悪い時は、医師に連絡し、必要に応じて手当てを受ける

応急処置をする者の
保護に必要な注意事項

保護手袋、保護眼鏡などの保護具を着用する

医師に対する特別な
注意事項

特になし

05. 火災時の措置

適切な消火剤

水、粉末消火剤、一般の泡消火剤、二酸化炭素、砂

使ってはならない消火剤

特になし

火災時の特有の
危険有害性

燃焼すると刺激性のガス(HCl,CO,CO2)が発生する

特定の消火方法

消火作業は、可能な限り風上から行う
火災発生場所の周辺に関係者以外立ち入りを禁止する

消火を行う者の
特別な保護

燃焼により有毒なガスが発生するため、呼吸用保護具を着用する

06. 漏出時の措置

人体に対する注意事項 保護具及び緊急時措置	パイプ切断時に粉じんが発生する場合、作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける
環境に対する注意事項	河川等に排出したり、環境への影響を起こさないように注意する
封じ込め及び浄化の方法及び機材	パイプ切断により粉塵が発生する場合、掃き集めて空容器に回収し、後で廃棄処理する 真空中で吸い取る等、粉塵が飛散しない方法で取り除く
二次災害の防止	パイプ切断により粉塵が発生する場合、床面に残ると滑る危険性があるため、こまめに処理する

07. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	『8. 暴露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する 『8. 暴露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う
安全取り扱い注意事項	吸入または飲み込まない。取り扱い後はよく手を洗う。 空気中の濃度を暴露限界以下に保つために排気用の換気を行う (パイプ切断により粉塵が発生する場合) 屋外又は換気の良い区域で使用する 環境への放出を避ける(パイプ切断による粉塵発生時)
接触回避	粉塵が発生する場合には、装置、機器等は静電気対策を実施する
衛生対策	切削屑が発生する時には、飲食又は喫煙をしない 休憩場所には、洗身シャワー、手洗い、洗眼等の設備を設ける 製品取り扱い後には手、顔等をよく洗い、うがいをする
保管	
安全な保管条件	直射日光を避け、換気の良い冷暗所に保管し、火気を避ける

11. 有害性情報

急性毒性(経口)	データ不足のため分類できない
急性毒性(経皮)	データ不足のため分類できない
急性毒性(吸入)	データ不足のため分類できない
皮膚腐食性／刺激性	データ不足のため分類できない
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	データ不足のため分類できない
呼吸器感作性又は皮膚感作性	データ不足のため分類できない
生殖細胞変異原性	データ不足のため分類できない
発がん性	本物質のデータはないが、IARC (No.87/2004)は無機鉛化合物をグループ2A(ヒトに対しておそらく発がん性がある)に分類している。これに従い、区分1Bとした。
生殖毒性	本物質のデータはないが、ACGIH-TLV(2005),ATSDR(draft,2005)において鉛(無機化合物)がヒトに生殖毒性を示すとしている。これに従い、区分1Aとした。
特定標的臓器毒性(単回暴露)	本物質のデータはないが、(財)化学物質評価研究機構ハザードデータ集2001-9(2001)には無機鉛化合物について「急性影響及び慢性影響はほぼ同様の症状が認められている」との記載があり、ACGIH-TLV(2005)では無機鉛化合物に中枢神経系、血液、腎臓の影響があるとしている。これに従い、区分1(中枢神経系、血液、腎臓)とした。
特定標的臓器毒性(反復暴露)	本物質のデータはないが、ACGIH-TLV(2005)では無機鉛化合物に中枢神経系、血液、腎臓の影響があるとしている。さらに顔料に含まれるカーボンブラックに関しLARC (vol.65)に職業ばく露による肺の変化または障害が多く、かつ特徴的であるとしている。これに従い、区分1(中枢神経系、血液、腎臓)とした。
誤えん有害性	データ不足のため分類できない

12. 環境影響情報

生態毒性	データなし
残留性・分解性	一般的な環境下では容易に分解しない。
生体蓄積性	データなし
土壤中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	データ不足のため分類できない

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	環境への放出を避け、地方/国の規則に従って廃棄する。 本製品は廃プラスチック類に分類される。(安定型産業廃棄物)
汚染容器及び包装	非該当

14. 輸送上の注意

国際規制	
海洋汚染物質	規制なし
特別な輸送上の注意	規制なし
国内規制	
陸上規制情報	規制なし
海上規制情報	規制なし
航空規制情報	規制なし

15. 適用法令

労働安全衛生法

名称等を表示し、または通知すべき危険物及び有害物

名称通知危険/有害物

ステアリン酸鉛、三塩基性硫酸鉛、酸化チタン(IV)、カーボンブラック、銅およびその化合物、シリカ

鉛化合物

ステアリン酸鉛、三塩基性硫酸鉛

鉛中毒予防規則 該当

ステアリン酸鉛、三塩基性硫酸鉛

化学物質排出把握管理促進法 (PRTR 法)

特定第1種指定化学物質 305号 (鉛およびその化合物)

水質汚濁防止法

有害物質

大気汚染防止法

排出規制物質 (有害物質)

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

産業廃棄物 (廃棄物として処理する場合の分類)

土壤汚染対策法

第二種特定有害物質

毒物及び劇物取締法

適用しない

消防法

非該当又は非危険物

外国為替及び外国貿易法

適用しない

船舶安全法

適用しない

航空法

適用しない

港則法

適用しない

16. その他

記載のデータや評価は、現時点で入手出来る資料や情報に基づいて作成していますがそのデータや評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。

また、このデータや評価は必ずしも充分ではありませんので取り扱いには十分に注意をお願いいたします。
